



天井吊下げ用スピーカー

Control 60 Series 取扱説明書



対象製品型番

フルレンジ・スピーカー

- ・ Control 62P
- ・ Control 64P/T
- ・ Control 65P/T
- ・ Control 67P/T
- ・ Control 67HC/T

サブウーファー

- ・ Control 60PS/T

このたびは、JBL PROFESSIONAL「Control 60 Series」天井吊下げ用スピーカーをお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前にこの設置説明書を必ずお読みになり、内容をよくご理解された上で正しくお使いください。

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



警告

- 屋内に設置する場合は付属の端子カバーを、屋外に設置する場合はオプションの背面カバーを必ず使用してください。端子に埃が積もったり雨が降ったりすると、火災・感電の原因となります。また、スピーカーは水に入れないでください。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常が起きたときは、ただちにケーブルを外して修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 取り付け工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行ってください。また、取り付けの際は以下の点に注意してください。取り付けに不備があると、落下による怪我や故障の原因となります。
 - ・取り付け場所の選定には十分注意し、補強作業を施して安全を確認した上で取り付けてください。
 - ・機器の重量に耐える十分な強度を持った安定した場所に設置してください。
 - ・不安定な場所や連続して振動する場所には設置しないでください。
 - ・万一来て、落下防止ワイヤーを必ず設置してください。
 - ・定期的に保守点検を行ってください。
- 配線は正しく行ってください。誤配線によるショートなどは火災の原因となります。
- 過大入力を加えないでください。火災の原因となり危険です。
- 接続ケーブル類が傷んだら（芯線の露出、断線など）交換してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

- 以下のような場所には設置しないでください。火災や故障の原因となります。
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・極度の低温または高温の場所
 - ・湿気の多い場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 本体とグリルの間に緩みが無いことを確認してください。緩みがあるとグリルが落下し、けがや器物破損の原因となります。
- パワーアンプと接続する際は、パワーアンプの電源を切ってください。感電の原因となります。
- パワーアンプとの接続には、必ずスピーカー接続専用のケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となります。
- 濡れた手で、スピーカーケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 接続したパワーアンプの電源を入れたり切ったりする前に、必ずパワーアンプの音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 歪んだ音や電子楽器等の高い周波数の音を連続して再生しないでください。スピーカーが発熱して火災の原因となります。

梱包内容の確認

パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

【Control 62P、Control 64P/T、Control 65P/T、Control 67P/T、Control 67HC/T】

- ・本体× 2
- ・吊下げワイヤー・キット× 2
- ・2ピン・ユーロブロックコネクタ× 4
- ・端子カバー× 4
- ・和文取扱説明書

【Control 60PS/T】

- ・本体× 2
- ・吊下げワイヤー・キット× 2
- ・2ピン・ユーロブロックコネクタ× 12
- ・端子カバー× 12
- ・和文取扱説明書

スピーカーの設置方法

Control 60 Series にはスピーカーを梁などから吊るための GRIPPLE 社製吊下げワイヤー・キットがスピーカー 1 台につき 1 個付属しています。

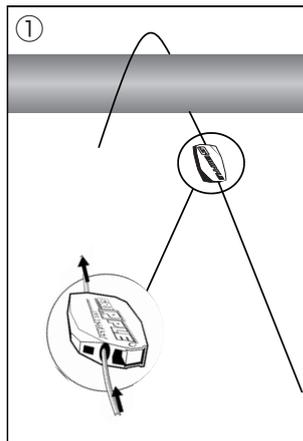
吊下げワイヤー・キット内容物：

GRIPPLE × 2、吊下げワイヤー（約 4.5m）× 2、リリースキー × 2

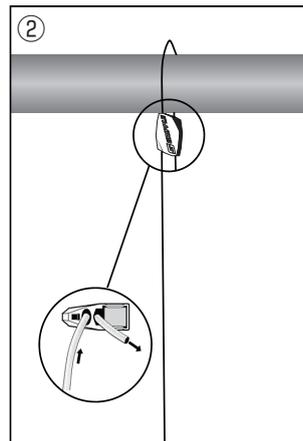
吊下げワイヤー・キットを使用したスピーカーの設置方法は以下の通りです。

- △注意**
- ・取り付け工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行ってください。
 - ・GRIPPLE に吊下げワイヤーを通す際、通す穴や向きに注意してください。間違えるとスピーカーが落下する原因となります。
 - ・吊下げワイヤーは必ず 2 本設置してください。また、2 本の吊下げワイヤーは別の構造物に固定してください。

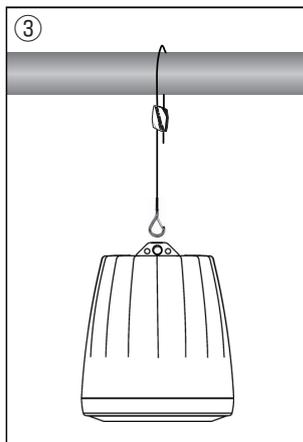
① GRIPPLE の左右両側面にある楕円形の穴の一方に吊下げワイヤーを通し、通したワイヤーを梁などの頑丈なポイントにかけます。



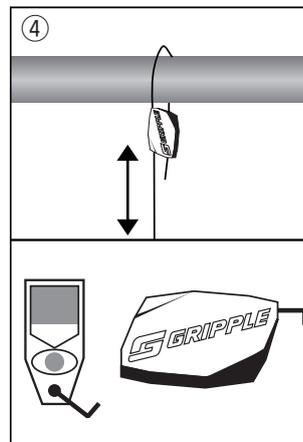
② ①のワイヤーを、GRIPPLE のもう一方の側面にある楕円形の穴に通します。



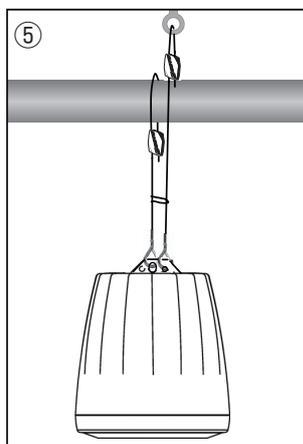
③ スピーカー背面にある吊下げ金具の中央の穴に、吊下げワイヤーのフックをかけます。



④ スピーカーの高さを調整します。下げる場合は GRIPPLE のロックを解除する必要があります。スピーカーが落ちないように押さえながら、GRIPPLE の左右両側面にある小さな穴のどちらかにリリースキーを差し込んで、押してください。差し込んだ側にある楕円形の穴のワイヤーのロックが解除されます。上げる場合はロックを解除する必要はありません。



⑤ スピーカー背面にある吊下げ金具の左右の穴のどちらかに、もう 1 本の吊下げワイヤーのフックをかけます。1 本目のワイヤーと同じ手順で、①でワイヤーをかけた構造物とは別の頑丈なポイントにワイヤーを固定してください。最後に、余ったワイヤーを切り落とせば設置は終了です。



同梱の吊下げワイヤー・キットは、
セーフティファクター 10 : 1
に対応しています。

背面カバーの取り付け方法

Control 60 Series はエンクロージャーに関する防塵と防水の程度についての保護等級 IP-44 に適合しておりますが、屋外で使用するためには端子を埃や雨から保護するオプションの背面カバーを取り付ける必要があります。背面カバーには対応モデルが異なる以下の 2 種類があります。

MTC-PC60 (2 個入り) : Control 64P/T, Control 65P/T, Control 67P/T, Control 67HC/T, Control 60PS/T 用

MTC-PC62 (2 個入り) : Control 62P 用

背面カバーのスピーカーへの取り付け方法は以下の通りです。

- ① 入力選択スイッチを入力信号に適した設定にします。
- ② 音声ケーブルを背面カバーに通し、ユーロブロック・コネクタと接続します。付属の端子カバーは使用しません。

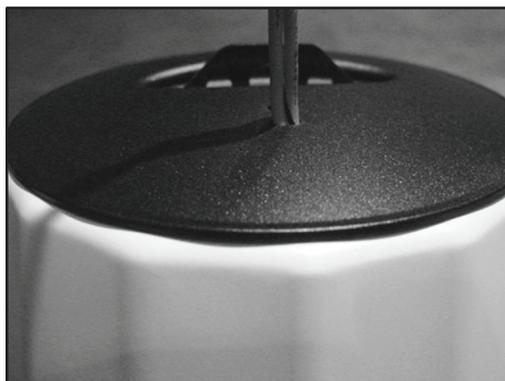
備考 ・背面カバーには、音声ケーブルを通すための穴が 2 つ空いています。Control 60PS/T に複数の Control 62P を接続する場合、2 つ以上の穴が必要です。足りない場合は穴を開けてください。



- ③ ユーロブロック・コネクタをスピーカーに接続します。



- ④ カバーを取り付け、スピーカーの背面を完全に覆います。



- ⑤ 音声ケーブルや吊下げ金具を通した穴の隙間、使用しなかった音声ケーブルを通すための穴、カバー外周とスピーカーとの隙間を屋外対応のシーリング材で確実に埋めてください。

注意 ・隙間や穴は、屋外対応のシーリング材で確実に埋めてください。粉塵や水が浸入すると火災や感電の原因となります。



●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

17/02

HIBINO

<http://www.hibino.co.jp/>
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111
札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪branch
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891
名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡branch
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509